

飛び石設置後 生き物を調査

ときがわの都幾川

比企の川づくり協議会(渡辺仁代表)は、県が「川のまると再生プロジェクト」で整備したときがわ町玉川の花菖蒲園近くの都幾川で、水辺の生き物調査を行った。

同地区は淵や瀬、飛び込みができる岩がある川遊びに適した場所。同プロジェクトで飛び石やコンクリートの散策路が設置されたことから、生態系の変化を危惧した同協議

川に入って生き物調査をするメンバー。手前の石が飛び石とときがわ町



会が生き物調査を行った。

調査では、カゲロウやトビケラ、ヤゴ、ギバチ、カジカなど、清流にすむ生き物が確認された。地元の環境団体が8月に行った生き物調査では、カジカは1匹しか確認されなかったが、今回は複数見つかった。

渡辺代表は「今回は降雨後の増水時の生き物調査となった。次回は水量が少ない時期の11月ごろに調査し、生き物の変化をみていきたい」と話した。(タウン記者・山本正史)